

わた かの た がた ごみの分け方と出し方



ルールを守って まちをきれいに しましょう。 正しく 分けると 資源になります。

私の家のごみを集める日は 区域番号 番です。

○可燃物（もえるごみ）	毎週：（ ）曜日 & （ ）曜日
○金属・陶器	毎月：第（ ）曜日
○ペットボトル	毎月：第（ ）日、第（ ）日曜日
○飲料缶・スプレー缶	毎月：第（ ）曜日
○ガラス	毎月：第（ ）曜日
○紙類、古布	毎月：第（ ）曜日

家庭ごみの出し方

- ※ ごみは 透明か 半透明の 袋に 入れて しばって ください。 必ず 朝8時までに 決められた ごみ集積所 《ごみを捨てる 場所》 に 出して ください。
- ※ ごみを 集める時間は、ごみの量や 道路の 渋滞などで 変わります。
- ※ 前の 日の 夜に 出しては だめです。（動物が 食べ物を 探します。） ごみを 集めた 後に 出した ごみは もう一度 集めません。
- ※ 黒い袋、段ボール、紙袋に ごみを 入れないで ください。（中が 見えないので だめです。）
- ※ 他の 市の 袋で 出さないで ください。
- ※ 祝日も 集めます。（年末年始は 集めません。）
- ※ 正しく 分けていない ごみは 集めません。

<ごみの分別>

- 集積所に 出すことができる ごみ：もえるごみ、金属・陶器、ペットボトル、飲料缶・スプレー缶、ガラス、紙類・布類
 - × 集積所に 出すことが できない ごみ：粗大ごみ（60cm×30cm×30cm より 大きい）、有害ごみ（電池、蛍光灯など）、牛乳パック、事業（店）から 出た ごみ
- <注意>土・泥・砂・石は 集めません。

可燃物 (もえるごみ)



(例) 生ごみ(料理くずは 水を良く切ってください) 料理に使った油は紙に吸わせるか、固めてください) 紙くず(段ボール、新聞やパンフレットなどは紙類の日に出してください) 木・枝・板・落ち葉・雑草(木は直径10cmより小さく、束ねた枝は直径30cmより小さく、60cmより短く切って出してください。一度にたくさん出さないでください。土はよく落としてください。) 布類(布団などは折って小さくして縛って出してください) カーペット類(ホットカーペットも)(たたむか切って長さ60cmにして縛ってください。3畳(4.6㎡)より大きいものは粗大ごみです) ビニール・プラスチック類(発泡スチロール、カセットテープ・CD・DVDソフトもです) 革製品(靴や革ジャンパー)。
※ 使い捨てライターは、市役所、支所、出張所、消防署にある回収ボックスに入れてください。

※ おむつに ついた うんちは トイレに 捨ててから 袋に 入れて ください。

金属・陶器



(例) 金属くず(缶詰や 油の 缶、ビンの 金属の蓋、傘、ゴルフクラブ、包丁、鍋、フライパン、ポットなど、扇風機、炊飯器、空気清浄機、ラジカセなど 60cm×30cm×30cmより小さい 電化製品) 電球(ソケットなどが 金属です) 陶器くず(植木鉢・茶碗・皿など)。

〈注意〉

- 乾電池は はずして わけて 有害ごみとして 捨てて ください。
- ナイフなどは 刃に テープを 貼って 出して ください。
- 発火 《火を 付ける》 装置がある ストープ・コンロなどは 集積所に 出すことが できません。粗大ごみです。でも、カセットガスコンロ(卓上 テーブルの上で使うもの) だけは、分かるように 別の 袋に 分ければ 金属・陶器の 日に 出すことが できます。見えるように 別の 袋に 分けて ください。(カセットボンベは、コンロから はずして、穴をあけて、飲料缶・スプレー缶の 日に 出して ください。)

牛乳パック

地域の リサイクルに 出すか、市の 公共施設 《みんなが 使う 場所》 に ある 回収箱 《集める箱》 に 入れて ください。

下の 順番で 出して ください。

- ① 水で 洗ってから、ハサミで 切って 開く。

- ② 切って 開いた後、もう一度 水で 洗う。
- ③ よく 乾かす。
- ④ いくつか たまったら 回収箱に 入れて ください。

<注意>

- ビニールキャップを 取って、もえるごみの 日に 出して ください。
- 内側が 白くない パックは リサイクルできません。可燃物(もえるごみ)の 日に 出して ください。(パックの 内側に 金属が 貼って あるものなど)

ペットボトル



このマークが 付いているもの だけ ペットボトル です。

(例) 炭酸飲料、ウーロン茶、焼酎・酒類、しょう油 などの容器

<注意> 水で 簡単に 洗うことが できない ボトル(料理の油・洗剤)や プラスチックのボトル(下の マークが 付いている)は もえるごみの 日に 出して ください。下の 順番で 出して ください。

- ① キャップを 外して
- ② 中を 水で 洗って
- ③ ラベルを 取って
- ④ つぶす



- ⑤ キャップと ボトルを 一緒に 袋に 入れて ください。

※ラベルは もえるごみの 日に 出して ください。

<注意> このマークが 付いている 物は もえるごみの 日に 出して ください。ペットボトルでは ありません。



飲料缶(飲み物の缶)・スプレー缶

(例) ビール缶、ジュース缶(中を 空にして 水で 洗って ください)

スプレー缶、ガスボンベ(家の 外で、火の ない ところで 穴を 空けて ください。)

●スプレー缶、カセットボンベは 穴を あけて ガスを 抜かないと、収集車が 火事にな って 危ないです。

※ アルミ缶と スチール缶を 分けなくて いいです(西貝塚環境センターで 分けます)。

<注意> 缶詰の 缶は、金属・陶器の 日に 出して ください。

※ ガスを 抜くことについて 詳しく 聞くことが できます。

カセットボンベ お客様センター 電話 0120-14-9996

<http://www.jgka.or.jp>



日本エアゾール協会

電話03-5207-9850

<http://www.aiaj.or.jp/>

ガラス

(例) ビン類 (中を 洗って ください。 金属の 蓋は 金属・陶器です。)

鏡、割れた ガラスなど

●電球は 金属・陶器の 日に 出して ください。

●蛍光管、水銀体温計は 有害ごみです。 公共施設に ある 回収ボックスに 入れて ください。

●ビール瓶や お酒の瓶は 買った 店に 持って 行って ください。

●割れた ガラスは 新聞紙などで 包んで、 ビニール袋に 入れて ください。「ガラス」と 書いて ください。

●鏡の 枠は とってください。 木の 枠は もえるごみの 日に 出して ください。 鉄の 枠は 金属・陶器の 日に 出して ください。 はずせないときは、西貝塚環境センターに 電話して ください。

●強化ガラス (鍋の ふたなどは、金属・陶器の 日に 出して ください。



紙類・布類

布類

布類・古着 (いらなくなった服) は 透明の ビニール袋に 入れて ください。

※雨の 日は 布類・古着は 出さないで ください。 次の 月に 出して ください。(雨に 濡れると、カビが はえて リサイクルできないからです)

●布類は 必ず 透明の ビニール袋に 入れて ください。

●綿が 入っている物 (ダウンジャケット、ぬいぐるみ、布団など)、革製品、とても 汚いものは もえるごみの 日に 出して ください。

●毛布は リサイクルします。

紙類

紙類は 3種類 (①新聞紙、②雑誌・雑がみ、③段ボール) に 分けて ひもで 縛って ください。

紙類と 布類は 別々の 車で 集めます。 一度に 全部を 集めていません。 必ず 全部の 種類を 朝8時までに 出して ください。



「雑がみ」として 出せるもの

菓子などの 紙の箱、 封筒 (窓の セロハン は 取って ください)、 はがき (圧着はがきは だめです)、 チラシ広告、 コピー用紙・メモ用紙 (ホッチキスは 取らなくて いいです)、

ティッシュペーパーの箱(取り出し口のビニールは取って ください)、トイレトペーパーやラップの芯、包装紙、紙袋・紙の手さげ袋(持つところが紙でないなら、取って ください)、カレンダー(留め金具は 取って ください) など。

「雑がみ」でないもの

食べ物・油などで汚れた紙、洗剤や線香などのにおいの付いた紙、写真・写真プリント用紙、レシートやファクスなどの感熱紙など

「雑がみ」の出し方

「雑がみ」は紙袋に入れて、紙ひも(ビニールひもも いいです)などで十文字にしばります。ビニール袋に入れないで ください。

粗大ごみ

60cm×30cm×30cmより大きいごみや、発火(火をつける)装置が付いている石油ストーブやガスコンロなどは集積所に 出すことができません。自分で西貝塚環境センターに 持って 行って ください。(10kgで80円 かかります)。

自分で 持って 行く ことが できない ときは、電話で 申し込んで ください (10kgで 230円 かかります)。一度に 3個まで 申し込むことが できます。電話番号は048-781-9141です。毎月20日から 次の月の 予約を 受け付けます。(20日が 土曜か 日曜の 場合は その次の日です)。次の 月の 集める 日が いっぱいになるまで 受け付けます。集める 日は、家に いて ください。料金を 払って ください。集める 人は 家の 中に入りません。粗大ごみを 家の 外に 出して ください。



有害ごみ

- 廃乾電池(使うことが できない 乾電池) 家の 近くの 公民館、市の



小学校や 中学校など 公共施設に 置いてある 専用の 回収箱に入れて ください。

※ ボタン電池・充電式電池は、ホームセンターや 大きい 電気店の 専用回収箱に 入れて ください。

- **廃蛍光管** (使うことができない **蛍光灯**) (蛍光管と水銀体温計)

家の近くの公民館、市の公共施設にある専用ケースに入れてください。袋から出して専用ケースに入れてください。



- **消火器** この会社に電話してください。

平野消火器 上尾市原新町3-2 電話048-771-5239

モリタエコノス 上尾市上尾下1040-1 電話048-777-1891

- ※ エアゾール式消火器は、飲料缶・スプレー缶の日に、穴をあけて出してください。

市が集めることができないもの

- ピアノ、エレキギター、コンクリート、ブロック片、プロパンガスボンベ、バイク、廃油 (古い油)、薬剤、揮発性・爆発性 《簡単に火がつく》のもの。

- 家を建てる時、家を壊す時のごみ、農業のビニールなどの産業廃棄物。

- 注射器・針などの医療のごみ

- バスタブ・鉄アレイ、金庫などの金属のかたまり

- バッテリー類

- ※ 産業廃棄物について分からないことがあったら、埼玉県環境産業振興協会 (電話：048-822-3131) に、聞いてください。その他のものについて分からないときは西貝塚環境センターに聞いてください。



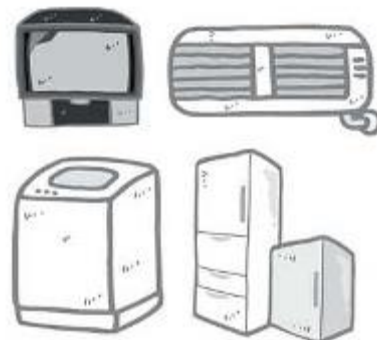
テレビ・エアコン・洗濯機・衣類乾燥機・冷蔵(凍)庫

家電リサイクル法の決まりで、上尾市では集めることや捨てることができません。捨てるためには「家電リサイクル料金」がかかります。

次のどれかの方法で捨ててください。

- ① 買った店、買い替える店に引き取りを頼む。(家電リサイクル料金と運ぶための料金ががかかります)

- ② 郵便局で家電リサイクル券を買って、指定引き取り場所へ自分で持って行く。



③ 郵便局で家電リサイクル券を買って、収集運搬認可業者に集めてくださいと頼む。

⇒認可業者の情報は、市のホームページにあります。西貝塚環境センターに聞くこともできます。リサイクル料金は、メーカーによってちがいます。ここに聞いてください。

家電リサイクル券センター 電話0120-319-640 <http://rkc.aeha.or.jp/>

《指定引取場所 指定引取場所には持って行くことだけできます。家に取りに来ません。》

日通埼玉運輸(株)岩槻取扱所 さいたま市岩槻区上野5-2-19 電話048-796-0846

SBS即配サポート(株)岩槻デポ さいたま市岩槻区馬込1529-1 電話048-748-5304

森田運送(株)首都圏営業所 さいたま市桜区上大久保1012 電話048-749-1071

東上通運(株)川越リサイクルセンター 川越市松郷886-9 電話049-272-7750

日本通運(株)川越事業所 川越市南大塚6-37-3 電話049-249-0201

こがたかでん 小型家電

(例) いらなくなった デジカメ、ビデオカメラ、CD/MDプレーヤー、ゲーム機、電子辞書、ICレコーダー、携帯電話などは、こがたかでんかいしゅうボックスに入れてください。小型家電回収ボックスは、市役所、各支所、出張所にあります。

*小型家電回収ボックスの口は30センチ×15センチです。回収ボックスに入らないおおきさのものは、金属・陶器の日にだ出してください。



ちい とうぶつ しがい 小さい動物の死骸

誰のものか分からない犬や、猫などの死体を 見つけたときは、月曜日から金曜日と祝日は西貝塚環境センターに電話してください。土曜日、日曜日と年末年始は市役所(電話: 048-775-5111)に電話してください。

ペットの犬・猫などの死骸焼却《動物の死体を焼く》は、西貝塚環境センターへ申し込んでください。西貝塚環境センターに持って行くときは1体あたり700円かかります。西貝塚環境センターが取りに来るときは1体あたり2,000円かかります。

(動物の体重が何キロでも料金は同じです)。小さい動物の焼却炉でまとめて焼きます。骨は飼い主に返すことができません。

●上尾伊奈斎場つつじ苑でも、動物の死骸焼却をしています。詳しいことは、上尾伊奈斎場つつじ苑(電話048-720-7870)に聞いてください。

